

信州池田陶芸家十勇士～土と炎と彩りの町づくり～事業

取組に至る背景・事業の目的

- 池田町では、『日本で最も美しい村』連合に加盟するなど古くから培われてきた豊かな自然や北アルプスの眺望を守り、活かした町づくりが進められてきた。自然環境が創作意欲を掻き立てるためか、近年、様々なジャンルの芸術家・作家が移住し、創作活動を展開している。しかしながら、それぞれが個々の活動に留まり、面的な広がりには至っていなかった。
- そこで、町内在住の陶芸家が集まり、「信州池田陶芸家十勇士」を結成。相互連携により多岐に渡りスケールメリットを創出するとともに、芸術文化を通じ池田町のブランド力の更なる向上を目指した。

事業内容

- 新たな顧客の獲得や来訪者の増加のため、町内在住の陶芸家を紹介したパンフレット・ポスターを作成し、報道・マスコミや旅行会社へのPRを行った。
- 町内の華道家の皆さんと連携し、「器に花」をテーマとした共同展覧会を松本市で開催した。また、花見地区のホテル祭りで創作燈籠の展示を行うなど、町内のイベントに積極的に参加した。



【作成したパンフレット】

事業効果

- マスコミや旅行会社へのPRを行ったことにより、各種団体・旅行会社のツアー催行等により来訪者の増加に繋がった。
 - ・『大人の遠足 in 池田』（FM長野主催）参加者 30名（定員の4倍120名を超える応募があり抽選を実施する程の盛況）
 - ・『紅葉と陶芸体験ツアー』（旅行会社主催）大型バス4台の受入れ
- 松本市内2会場で開催した共同展覧会には多くの方が訪れ、陶芸家十勇士や池田町をPRすることができた。また、ホテル祭りで展示した燈籠を気に入った方から作成の依頼があった。
 - ・展覧会延べ来場者数 1,862名
 - ・燈籠の作成依頼 2件30品



【陶芸体験イベントの様相】

工夫・苦勞した点、課題、今後の取組など

- 認知度向上のために、より効果的な共同展覧会の開催場所の選定に苦慮した。
- 華道各流派とのコラボレーション、花見ホテル祭りへの創作燈籠の展示を行うにあたり、関係者の合意形成等、細やかな調整を必要とした。
- この取組を一過性のものとせず、今後、更なる活動強化、PR活動の実践を行い、陶芸家十勇士の発展や芸術文化のネットワークの拡大を図っていきたい。

【選定のポイント】
 旅行会社やマスコミなどへの効果的なPRにより、陶芸家十勇士の活動が認知され、陶芸体験ツアーなどによる来訪者が増え、展覧会にも多くの方が訪れた。また、地域の陶芸家、芸術家が連携した活動を継続することにより、陶芸が池田町の魅力として定着することが期待できる。

| | |
|--|-----------------|
| 団体名 信州池田陶芸家十勇士（池田町） | 事業タイプ ソフト事業 |
| 連絡先 事務局 池田町観光協会 電話 0261-62-9197 | 事業費 1,822,000円 |
| http://www.ikeda-kanko.jp Email ike-kan@ikeda-kanko.jp | 支援金額 1,822,000円 |